

⑤ 10月に入りました

早いものでもう10月、いつの間にか日中でも寒さを感じるようになり秋も深まってきました。児童生徒たちは、芋掘りなどこの季節ならではの活動も体験しています。



新型コロナウイルスによる休業期間に教職員はICTの研修を重ねてきました。今では大きな学習集団での活動ではリモートが当然のように行われるようになってきました。画面を通してではありますが、同じ活動を共有していることを確認し、楽しみながら教育活動を行っています。また小学部の児童と訪問教育の友達とがリモートで交流し一緒に活動する、そのような実践も行っています。

教職員等の研修も今はほとんどがWeb開催もしくは書面開催です。

例年10月上旬には、中部地区肢体不自由教育研究大会があります。今年は愛知県立ひいらぎ特別支援学校が主管校でした。本来であれば主管校の県に参集し「PTA連絡協議会」も行われる大会です。例年本校PTA役員の皆様にはお忙しい中、何とかご都合をつけていただき、本大会へ参加していただいております。今年は書面開催での実施となり、「校長連絡協議会」のみをWeb開催で行いました。



コロナによって私たちの生活は様々な影響を受けましたが、これを機にこれまでのやり方を見直したり、形を変えて進化したりと決して悪いことではなかったように感じています。「ピンチをチャンスに」まさに今の状況であると思います。



例年ならば学習発表会のステージ発表の練習をしている頃ですが、今年は落ち着いて日々の学習に取り組んでおり、充実した成果を感じています。来週の学習参観週間ではお子様の学校生活の様子を参観いただきたく、どうぞよろしくお願ひします。